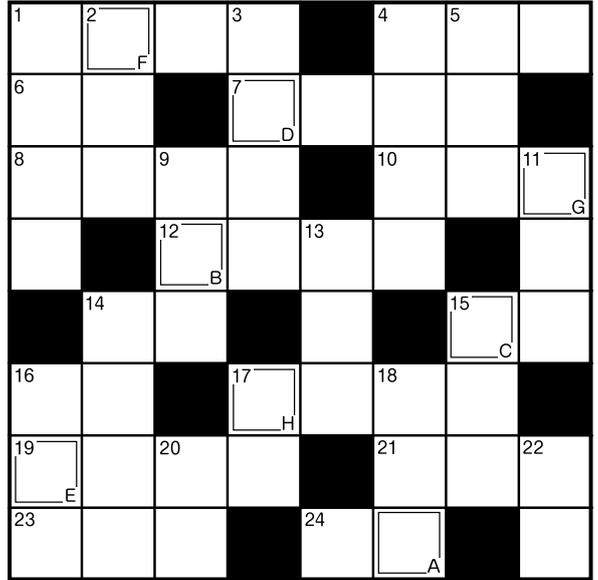


ヨコのヒント

- あらかじめ学習したデータを基に、文章や画像、音楽などを作り出す○○○○AI。便利ですが、利用には注意が必要です。
- 何度も試し、失敗を繰り返しながら、問題解決に向けて方法を探していく。「○○○^{ぶくろ}錯誤」といいます。
- 数学のうち、図形や空間の性質について研究する分野を○○○学といいます。
- とは、洪水から家や耕地を守るため、集落の周りを堤防で囲んだ地域のこと。濃尾平野の木曾川・長良川・揖斐川の下流域などで見られます。
- 鳥やけもの、魚などをむやみにとること。
- 多くのなかで際立って見える。「○○○を放つ」といいます。
- 「茶色」を英語でいうと？
- 「○○くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺」(正岡子規)
- 「荒海や○○に横たふ 天の河」(松尾芭蕉)
- 華厳・白糸・那智・袋田。いずれも○○○の名前です。
- 海水面に対して土地が上昇することは「隆起」。では低下することは？
- いつまでも限りなく続くこと。「平和が○○○○に続きますように」などと使います。
- 気温・物価・評価などが勢いよく上昇したり、増えたりすること。ある魚を例に「○○○上り」といいます。
- 日本で○○○○のカラー放送が始まったのは、1960(昭和35)年です。
- 運んだり、のべしたり、棒になったり、洗ったり。さて、そんな体の部分は？



【答え】

A	B	C	D	E	F	G	H

- 22 20 18 17 16 15 14 13 11 9 5 4 3 2 1
- 倭人伝。当時の日本の風俗・社会・外交などが記されています。
- 3世紀末にまとめられた中国の歴史書「○
- 入る漢字の読みは？
- 儒教を開いた古代中国の思想家。その教
- えは『論語』にまとめられています。
- わすかなお金で、たくさん利益を手に入
- れる。「○○でタイを釣る」といいます。
- 3世紀末にまとめられた中国の歴史書「○
- 倭人伝。当時の日本の風俗・社会・外
- 交などが記されています。
- 1 入道雲とも呼ばれる○○○○雲。集中豪
- 雨のほとんどがこの雲によるものです。
- 2 平安時代に始まった貴族の男性の服装。
- 3 正装である束帯(まげたい)を略したもの。
- 4 ○○○○具視(きし)は幕末から明治時代初期に
- 活躍した政治家。王政復古(おうせいふこ)を
- 実現させた。
- 5 中国北西部の砂漠地帯などから強風で巻
- き上げられた砂が空を覆い、風に運ばれ
- ながら徐々に降下する現象。
- 6 出雲阿国(いずものおくに)が始めた○○○○踊り。江戸時代
- に劇場芸術に発展し、○○○○となりました。
- 7 ○○○○洋は世界の三大洋の一つ。大西洋・
- 大西洋に次ぐ大きさです。
- 8 日本の麺の一つ。讃岐(さぬき)・稲庭(いなば)・五島(ごとう)
- など
- 9 商品がたくさん売れて忙しいときを、帳
- 簿(たば)への記入が忙しいことから「○○○○
- 時」といいます。
- 10 フィンランド生まれの蒸し風呂。閉め切っ
- た部屋の中の空気を熱し、体を蒸して汗
- を流します。
- 11 「滝の音は○○○○くしくなりぬれど名こ
- そ流れてなほ聞こえけれ」(大納言公任)
- 12 □金、□貨、運□、駄□。□に共通して

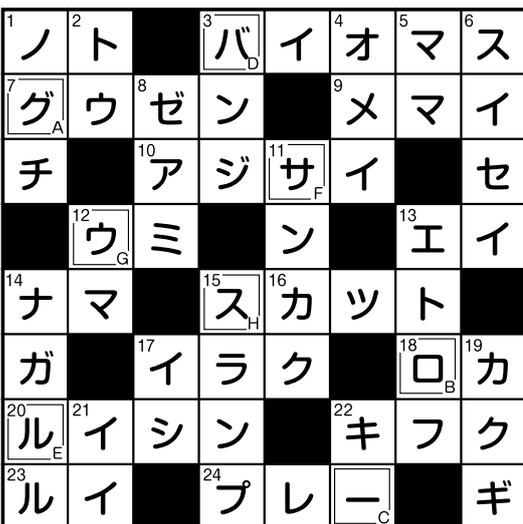
タテのヒント

- 1 入道雲とも呼ばれる○○○○雲。集中豪
- 雨のほとんどがこの雲によるものです。
- 2 平安時代に始まった貴族の男性の服装。
- 3 正装である束帯(まげたい)を略したもの。
- 4 ○○○○具視(きし)は幕末から明治時代初期に
- 活躍した政治家。王政復古(おうせいふこ)を
- 実現させた。
- 5 中国北西部の砂漠地帯などから強風で巻
- き上げられた砂が空を覆い、風に運ばれ
- ながら徐々に降下する現象。
- 6 出雲阿国(いずものおくに)が始めた○○○○踊り。江戸時代
- に劇場芸術に発展し、○○○○となりました。
- 7 ○○○○洋は世界の三大洋の一つ。大西洋・
- 大西洋に次ぐ大きさです。
- 8 日本の麺の一つ。讃岐(さぬき)・稲庭(いなば)・五島(ごとう)
- など
- 9 商品がたくさん売れて忙しいときを、帳
- 簿(たば)への記入が忙しいことから「○○○○
- 時」といいます。
- 10 フィンランド生まれの蒸し風呂。閉め切っ
- た部屋の中の空気を熱し、体を蒸して汗
- を流します。
- 11 「滝の音は○○○○くしくなりぬれど名こ
- そ流れてなほ聞こえけれ」(大納言公任)
- 12 □金、□貨、運□、駄□。□に共通して

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E	F	G	H
グ	ロ	ー	バル	サ	ウ	ス	



★グローバルサウス

最近、よく目にすることばに「グローバルサウス(global south)」があります。今年5月、広島市で開かれた主要7

国首脳会議(G7サミット)でも、「グローバルサウスとの連携」が議題の一つとなりました。さて、グローバルサウス

とは何でしょうか。そのまま訳すと「世界規模の南」ですが、これでは意味がわかりません。実は、そこに明確な定義は

なく、ほとんどの場合、「アジア、中東、アフリカ、中央アメリカ、南アメリカなどの発展途上国や新興国」という意味

で使われています。これらはヨーロッパや北アメリカの先進国より相対的に南に位置しているため、グローバルサウスと

呼ばれるのです。

では、どうして今、グローバルサウスが注目されているのでしょうか。ロシアによるウクライナ侵襲後、日本や欧米な

ど西側諸国とロシアの対立が激しくなっていることと関係があります。西側諸国はロシアを強く非難し、グローバルサウ

スの国々にもその輪をを広げたいと考えていますが、ロシアとの軍事的・経済的なつながりが深いことから、中立の立場を

とる国が少なくありません。G7広島サミットで、「法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を強化する」と合意文書に

明記されたのは、グローバルサウスの国々と連携したい、自分たちの見方に引き入れたいという思いがあるからです。

それ以外にも、西洋諸国とグローバルサウスの国々で考えが異なる問題は少なくありません。代表的なのは環境問題

で、地球温暖化を引き起こした責任の多くは先進国にあるのだから、発展途上国をもっと支援すべきだと主張しています。

グローバルサウスの多くを占めるアフリカ諸国は人口や資源も多く、「最後のフロンティア(開拓地)」と呼ばれるほど

マーケットとして魅力的で、特に中国はアフリカへの進出を強めています。一方で、多くの国が紛争、食料不足、インフ

ラの未整備といったさまざまな課題を抱えており、純粋に支援を必要としています。注目されている背景にはこうした事

情もあります。

ヨコ

- 能登(のと)
- パイオマス
- 偶然(ぐうぜん)
- めまい
- アジサイ
- 海(うみ)
- 栄(えい)
- 生(なま)
- すかつと
- イラク
- る過(ろか)
- 累進(るいしん)
- 起伏(きふく)
- 類(るい)
- プレー

タテ

- 野口(のぐち)
- 唐(とう)
- 万事(ばんじ)
- 汚名(おめい)
- ママ
- 水星(すいせい)
- 世阿弥(ぜあみ)
- 三角(さんかく)
- 馬(うま)
- 拵(えとろふ)
- 流るる(ながるる)
- スランプ
- 石(いし)
- 閣議(かくぎ)
- 井伊(いゐ)
- キー